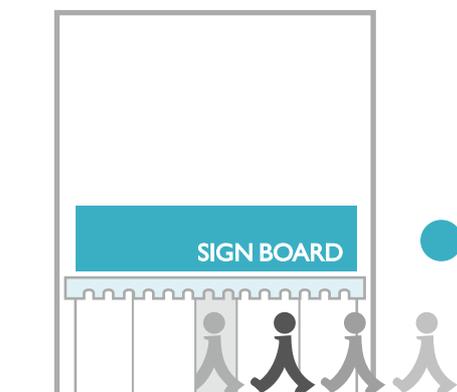


入りたいくなるお店の
看板デザイン



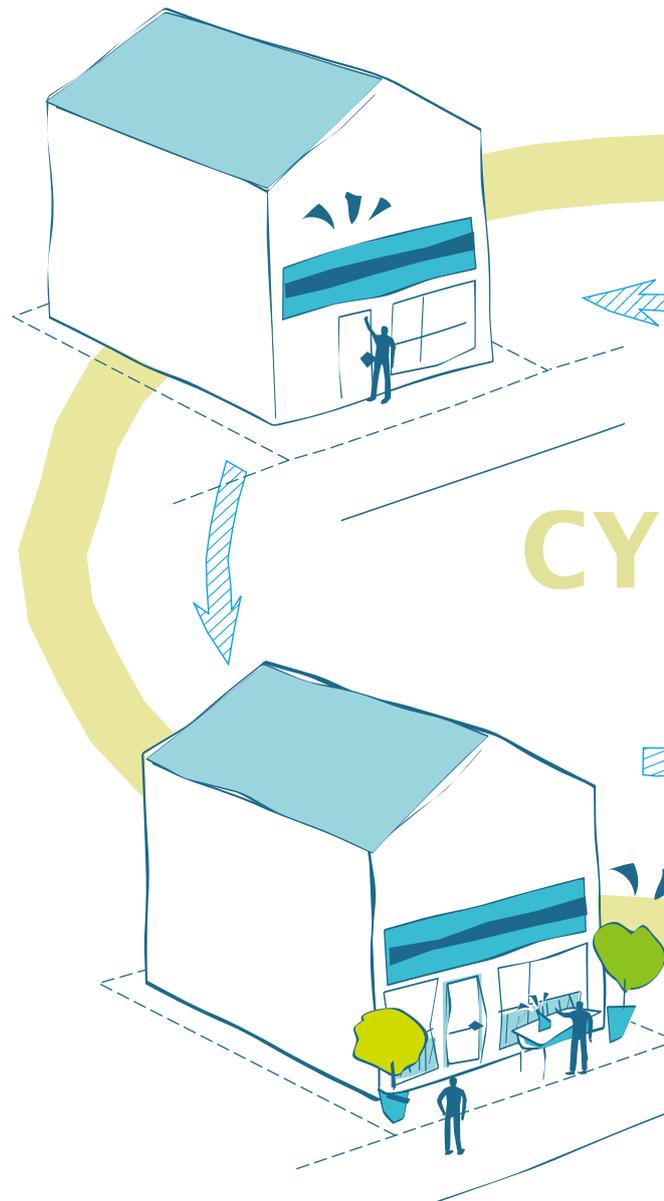
はじめに

看板などの屋外広告物は、お店の存在やイメージを伝えてくれる、私たちの生活になくてはならないものです。また、素敵な屋外広告物は、魅力的な広告風景をつくり、街行く人の気持ちを楽しむことができます。

本冊子では、屋外広告物の特徴や魅力的な広告風景をつくるためのポイントなどについて解説しています。

これから看板を掲げることを検討している方や看板のリニューアルを考えている方などに、身近な屋外広告物についてより深くご理解いただく一助として、ぜひこの冊子をご活用ください。

看板からはじまる広告



CONTENTS

はじめに・看板からはじまる広告風景	1
広告風景をつくる6つのPoint + α	3

Point 1 情報

Point 2 文字

Point 3 色彩

Point 4 大きさ・位置

Point 5 素材

Point 6 図・記号

+ α

これから看板を出す方々へのメッセージ	10
--------------------------	----

※ 看板等を出す際は、東京都屋外広告物条例や道路法を遵守するとともに、看板の大きさや設置する位置により、許可等の手続きが必要です。

「ぶつぶつ広告物」

～ 世田谷の広告風景を考える連続ワークショップ ～





CLE

看板は、お店からのメッセージです。お店の「商品イメージやどんな人に来て欲しいか」をわかってもらえる看板を、デザインすることが大切です。また、看板と一緒に、店先全体もデザインすることでメッセージはより明確に伝わります。

その際、少し視野を広げて周りのお店や建物、通りに目を向けてみましょう。

素敵な店構えのお店や街路樹、賑やかな商店街のフラッグなどが見つかるかもしれません。これらのまちの風景の一部となっているものも意識して、看板、店先をデザインすることで、街並み全体の風景が魅力的になり、街を訪れる人も増えるはず。

さあ、看板からはじまる魅力的な広告風景づくりをはじめましょう。



ワークショップの参加者によりデザインされた仮想店舗の看板

本冊子は、区民参加による全4回のワークショップ『ぶつぶつ広告物』での意見を参考に作成しています。

広告風景をつくる6つのPoint + α

看板の広告媒体としての特徴

雑誌やインターネットなどの広告媒体と比べると、看板には「場所」・「対象」・「時間」について下図のような特徴があります。そのため看板は、「その場で見える範囲のターゲットに、時間をかけてメッセージを提供することが得意」で、店名や立地、ブランドイメージの定着等について効果的な広告媒体といえます。

インターネットで簡単に商品を手に入れることができる時代において、お店に足を運んでもらうためには、まちが魅力的でなければなりません。看板の特徴を活かしながら効果的かつ魅力的な看板をデザインし、まちの魅力を高めていくことが必要です。



「場所」：同じ場所から動かないため、その場所や建物に関する情報の発信に適する。

「対象」：伝える情報は、見える範囲に限られる。

「時間」：比較的長い時間表示される。

効果的な看板づくりのポイント

看板の特徴を活かしてメッセージを効果的に伝えるための「6つのポイント+α」をご紹介します。

メッセージを正確に伝えるためにも「看板は目立てばいい、派手なものもいい」と考えるのではなく、メッセージを受取る人がどのように感じるかを考えてデザインすることが大切です。





1

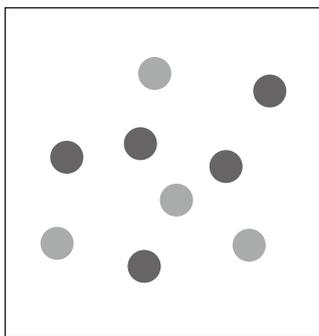
情報は、秩序をもって整理されているほど人の記憶に残りやすくなります。

看板をじっくり読んでくれる人は、意外と多くありません。短い時間で正しく伝えることが大切です。

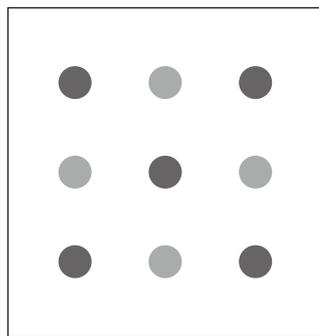


2

3



ランダムな配置の丸



規則的な配置の丸

4

1. 文字や図が整理され、すっきりとしていて見やすい。
2. 看板ごとの役割に合わせた表示内容とすることでメッセージが伝わる。
3. 複数の店舗で、大きさ・位置を合わせた看板が規則的に設置され、統一感があり見やすい。
4. 規則的に配置された右図は、丸の数がすぐにわかる。

豆知識 瞬間視は 15 文字

歩行者が短時間で判読できる文字数（瞬間視）は 15 文字程度とされています。

自動車のドライバーは、更に少ない 7 文字程度。詰込んだ情報の全てが伝わるわけではありません。

まちを彩る
かっこいい
屋外広告物



歩行者の瞬間視 (0.3 秒)
判読文字数 15 文字程度

いい
屋外広告物



ドライバーの瞬間視 (0.3 秒)
判読文字数 7 文字程度



1

メッセージは、シンプルで読みやすい文字を使って、簡潔に表現することで伝わりやすくなります。

看板に適度な余白を設けることも、読みやすくする方法のひとつです。



2



3

読みやすい看板の例



入りたくなるお店の看板デザイン

読みにくい看板の例



入りたくなるお店の看板デザイン



入りたくなるお店の看板デザイン

4

1. 表現がとてもシンプルで印象的。
2. 適度に余白があるため読みやすい。
3. 店主の手書きの文字により、お店の個性が伝わってくる。
4. 文字を過度に装飾したり、文字の間隔や行間を考えずに配置すると、読みにくい看板になってしまう。

豆知識 4 cm あれば認識できる

人が認識できる文字の大きさは、対象物との距離で決まっています。

10m離れていても、和文字は4 cm 以上、英文字は3 cm 以上の大きさ（高さ）で、認識できると言われています。

人が認識できる文字の大きさと距離との関係

視認距離	和文字高	英文字高
30m の場合	12cm 以上	9cm 以上
20m の場合	8cm 以上	6cm 以上
10m の場合	4cm 以上	3cm 以上



お店や商品のイメージを伝えるには、色の数は少ない方が効果的です。

例えば、店先全体でアクセントとなる色は一色に決めて、看板や小物などに使用すると、メッセージが素直に伝わります。



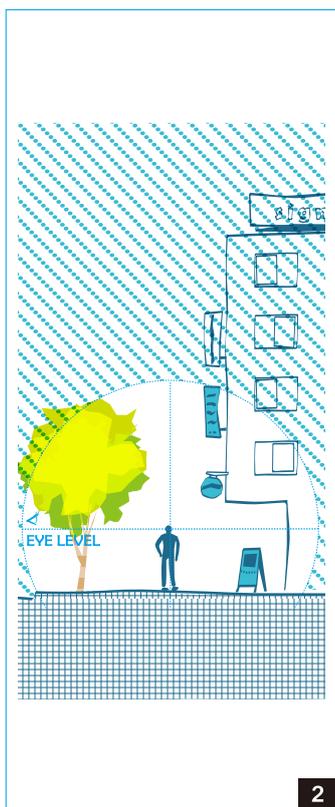
1. シンプルな色使い。青い色彩が美味しい海の幸を連想させる。
2. オレンジ色と白い暖簾の色使いが、親しみやすいお店のイメージをつくっている。
3. 洋風の店構えに赤い看板やベンチがマッチしている。
4. 落ち着いた色彩のクリーニング店。看板や壁面に使用している色彩の数が抑えられている。
5. 建物の壁と同じ色の自動販売機。桜の風景に溶け込む色使いになっている。

豆知識 アクセント色ってどんな色？

お店づくりにおいて、アクセントカラーとは、店舗の存在を強調するためにワンポイントで用いる色彩を指します。人の目につきやすい入口周辺や低い位置に用いると効果的です。



看板にアクセント色を使用すると、看板が引き立ちます。



看板は、誰にどこから見てほしいのかを意識しながら、適切な大きさや位置を考えて設置することが大切です。

1. 歩行者の目線に近い位置に、程よい大きさで看板が設置され、効果的な看板になっている。
2. 一般的に歩行者の視野に入る看板は、建物の2～3階までと言われている。

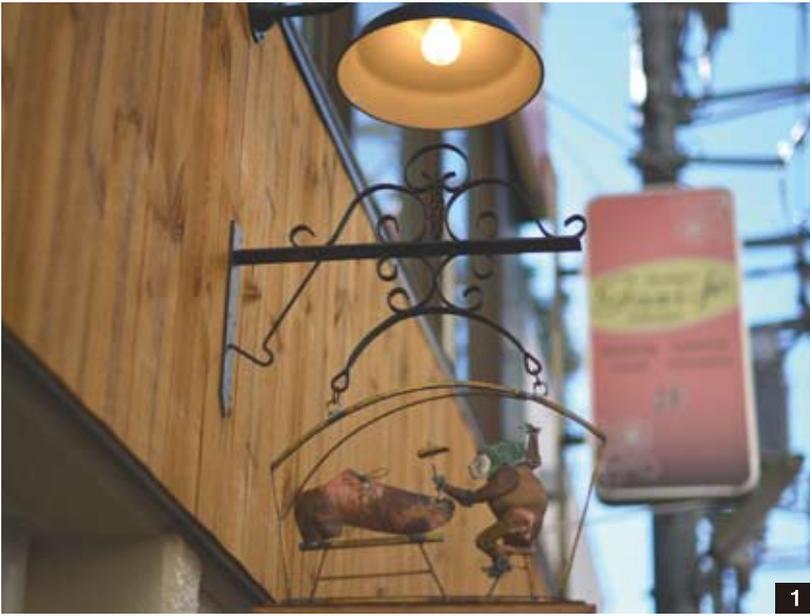


看板の印象は、素材とともに認識されます。例えば、木製の看板や麻の暖簾、黒板のメニューなど、使用する素材を工夫してみましょう。

素材のイメージとお店のイメージが重なることで、メッセージは深く人の心に残ります。



1. 木製の看板が、歴史とあたたかみのあるお店の雰囲気を伝えている。
2. 鉄製の素材と炎のデザインが、上質な焼肉店であることを物語っている。
3. パッチワーク風の手づくり感のある暖簾が、楽しそうな雰囲気を演出している。
4. 石貼りの外壁に切り文字の店名が、上品なお店のイメージをかもしだしている。



1

図や記号は、古くから行われてきた効果的な広告方法です。

図や記号を使って素敵にデザインされた看板を見つけると、ついついお店を覗いてみたくなるものです。



2



3



4



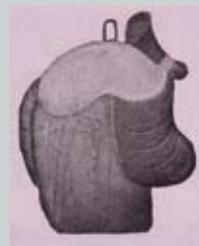
5

1. 靴屋の看板
2. ヘアカット専門店
3. 補聴器取扱店
4. 居酒屋
5. 喫茶店

豆知識 江戸時代に発展した看板

江戸時代中期には、文化や商業活動の発達とともに、様々な看板がつくられ、大いに発展しました。

当時のヘアスタイルをそのまま表現した一目瞭然の「かつら屋」の看板や、糸巻きをモチーフにした「針・糸屋」の看板など、どれも個性的で魅力があります。それらの看板からは、町人文化が花開いた粋で活気あふれる当時の街並みの雰囲気生き生きと伝わってきます。



かつら屋の看板



針・糸屋の看板

写真提供：田口敦子氏

* 連続ワークショップにおける田口敦子氏（多摩美術大学名誉教授）のご講演内容をもとに作成。

魅力的な店先や街並みをつくる。



1

魅力的な店構えにするためには、看板を含めた店先のトータルデザインが大切です。

例えば、看板に季節の草花を添えて、うるおいを演出したり、看板だけではなくテントや建具、小物などの色彩を統一するなど色々な方法があります。



2

1. 外壁や小物の色を白で統一し、看板などに木の素材を用いることで、あたたかみと清潔感のある雰囲気演出している。
2. 看板の文字や暖簾、手水鉢を含め、建物全体が和風のデザインに統一され、お店全体の魅力を高めている。
3. 茶系の色でまとめられた建物や看板・小物類に様々な草花が添えられ、店先全体にうるおいを創出している。
4. 開口部を大きく設けて店内の様子を見せることで、賑やかな雰囲気が店先を演出している。



3



4

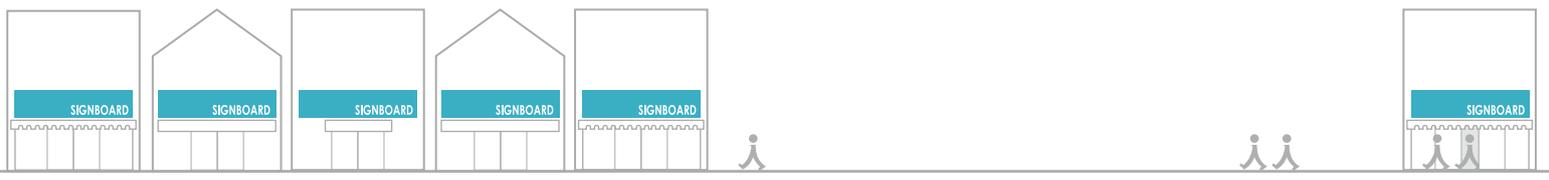
これから看板を出す方々へのメッセージ



『ぶつぶつ広告物』

世田谷の広告物風景を考える連続ワークショップ
参加者の皆さんより





入りたくなるお店の看板デザイン
- 広告風景のデザインブック -

編集 世田谷区都市整備政策部都市デザイン課
〒158-0094 世田谷区玉川1-20-1二子玉川分庁舎
☎ 03 (6432) 7153 FAX 03 (6432) 7996
編集協力 株式会社アルテップ
イラスト 佐藤 浩介

平成28年6月 発行
広報印刷物登録番号 No.1392